

積み重ね

校長 工藤 誠志

10月14日（土）に開催しましたスポーツ大会では、本校児童生徒と保護者や家族の皆様とが競技を通してスポーツをする楽しさを味わっていただきました。私は、各会場を巡って、皆さんが競技に取り組む様子をじっくりと見せていただきました。

どの子も今やるべき競技やその準備・片付けが分かり、取り組めていました。また、競技にチャレンジしている姿から、一人一人の子供たちの確かな成果につながっているなあと感じうれしくなりました。私を見つけて「校長先生、やったよ!」と記録カードを見せて結果をアピールする子供たちにたくさん会いました。また、家族がいる安心感からなのかどの子もゆったりとして競技にチャレンジしたり、次の競技会場への移動時間になるのを落ち着いて待っていたりする姿を見て、ほっとしました。



小学部のフライングディスクでは、お父さんと一緒に所定の位置まで移動して、ディスクを渡されると穴や的にめがけて投げ入れることができていました。一人一人がディスクを一枚ずつ投げている仲良し家族も見かけました。すばらしい!



サッカーボールが足元に転がってくると、中学部の生徒はドリブル開始。お母さんの「パス、パスし〜て!」の声に反応して、時間をかけて足元をよく見てキック。パスが完了です。すごーい!!

小学部のボール積みでは、紅白玉を積み重ねると高くなって、崩れると低くなってしまふことが分かって取り組んでいました。すばらしい!

中でも特に目を奪われたのは、さらに高さや競技時間を意識しながら、高く積み上がって大喜びの子がいる一方で、少しでも高くしようとお父さんが1個重ねたら崩れてしまい、子供が大泣きする場面に出くわしました。どうにもならない悔しさでいっぱいの子供をやさしく見守る家族や友達の姿がとてもいいなあと感じました。



家族が一緒になって競技に取り組む良さがありましたね。認めること、励ますこと、見守ること、いろんなことが子供の育ちにプラスになっています。子供は、大会当日のために練習を積み重ねてきているので、競技でできることが増えています。また、競技でめざすことに達成して喜んだり、頑張ろうと努力したりすることが大事だと思います。子供たちが、のびやかに、たくましく育っていることを感じていただけていたら大変うれしいです。どんなことも積み重ねると、その結果が出ます。この結果を目指して子供たちが夢中になっている姿が、私はたまらなく大好きなのです。